

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センターひゅーるぼん ひよこ組				公表日	2025年1月9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	十分なスペースを確保しています。活動内容や子どもたちの状況、人数に応じて、部屋の使い方を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	0	配置基準を上回る人員数を配置しています。	場面によって、一人一人に合わせたよりきめ細やかな支援を行うためにはさらなる人員数が必要だと感じるため、センタースタッフ間での協力を得ています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0	活動内容によってパーテーションで室内空間を区切って刺激を減らしたり、視覚的に理解しやすいスケジュール表や絵カード、サイン表示などを活用したりし、こどもたちにとってわかりやすく集中しやすい生活空間や環境になるよう努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	毎日活動終了後に清掃と消毒を行い、清潔な環境を心がけています。また、活動内容に合わせて部屋の使い方や机の配置を変え、こどもたちにとってより効果的な空間づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	状況に応じて、室内をパーテーションで仕切った個別の空間を作っています。必要であれば相談室、医務室などを使用することもできます。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11	0	毎日活動終了後に活動の振り返りと子どもの姿について情報共有を行っています。事業の見直し、評価は法人全体でも行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	毎年決まった時期に実施しています。その他、日々のやりとりでの保護者の方の意見も受け止め、業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	1	ひよこ組担当者での会議、法人全体での会議などで業務の見直しを行っています。必要に応じて、管理職等による個別面談も実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	法人の監事による年2回の事業監査、理事会での報告や運営に関する意見交換、外部有識者と保護者代表による年2回のセンター運営委員会等でいただいたご意見を受け止め、業務改善につなげています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	内部研修に加え、外部研修へ参加する機会も設け、専門性の向上に努めています。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0	事業実施の理念・方針をもとに、年間と各期の活動目標を立て、それに沿った5領域毎の活動計画、行事計画を盛り込んだ年間計画を作成しています。	事業計画は公表されていますが、より詳細な支援プログラムは今年度中に公開します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	実態を項目ごとに分析し、こどもや保護者の方の思いにも寄り添いながら、計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	支援計画案は児童発達支援管理責任者とクラス担当スタッフとで作成し、スタッフ間で検討しながら仕上げ、共有するようにしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0	計画に沿った支援をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	日々の行動観察記録に加え、発達検査や基本的な生活習慣チェック表を活用しています。法人独自の社会力チェック表の内容も参考にしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインの内容、項目を確認しながら目標、支援内容を設定しています。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	年間計画はスタッフ全員で立案しています。グループ活動の計画および日案は担当スタッフが中心になって立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	年間計画の中で、季節を取り入れた活動や体づくり、製作、行事などの様々な活動を取り入れ、経験と力につなげるようにしています。また、グループ構成や担当を定期的に見直ししたり、日課を変更する日を設けたりするなどの工夫もしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	支援計画の中に様々な視点を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	毎日スタッフで確認しながら行なっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	振り返りと支援方法の考察を行なっています。こども一人一人の記録を残し情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	毎日一人一人の様子を記録に残すとともに、月ごとの指導記録にまとめています。支援内容や成果を確認したり、今後の支援方法を考えたりする上で活用しています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	個々の成長や状況に合わせて半年ごとに計画を見直し、個人懇談で保護者の方と共有しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	児童発達支援管理責任者や担当スタッフが参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	センター内の各専門職スタッフや、他の通所事業所、相談支援担当者などに加え、地区担当保健師等と連携し、支援に活かしています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	地域の園との併行通園児の受け入れ、地域の園への移行支援を行っています。電話や書面等で情報共有をしたり、必要に応じて園等に出向き情報共有を行ったりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1	就学相談や入学の際に、個人記録の提出や学校の先生との情報共有を行なっています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	5	2	広島市北部こども療育センターの研修への参加や、専門職員との連携に努めています。地域の事業所も参加できる公開研修も行いました。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7	0	外部研修参加の機会を作っています。内部研修で、外部有識者から専門的な視点でアドバイスいただくこともあります。センター内でも管理栄養士や保健師など専門職種とも日頃から連携しています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	1	発達支援センター職員が自立支援協議会こども部会や事業所連絡会に参加しています。	ひよこ組担当スタッフも積極的に参加できる体制を作ることが課題です。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	9	法人全体で地域交流行事は実施しています。	同年代のこどもの直接的な交流の機会は作れていません。毎年課題として挙がっていますが、日々の活動や行事の中で優先順位が下がっており、スタッフとして反省しています。どのような機会があればこどもたち同士の有意義な交流の場となるのかを検討したいと思います。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	登降園時のやりとりや連絡ノート、懇談等の中で共有しています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	保護者勉強会や給食試食会、親子行事、交流会等の中で、学びの機会を作るよう努めています。	勉強会というスタイルは参加者が少なくなる傾向にあるため、年間通じて様々な学びの機会が提供できるよう工夫したいと思います。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	契約時に説明をしています。その後も必要に応じて説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	アセスメントシートで保護者の方の思いや願いを汲み取り、計画に反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	年3回の懇談の中で支援内容の説明をし、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1	随時相談をお受けし、具体的な関わりのヒント等を日常にお伝えしている他、年3回の懇談時には家庭での様子をお聞きし、家庭での関わり方を一緒に考えたりアドバイスをしたりしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	1	クラス懇談や保護者交流会、勉強会、親子行事など、様々な機会を通して保護者同士のつながりの場づくりを行っています。法人行事、地域行事はひよこ組以外の幅広い年代の保護者の方とも一緒に活動、交流できる場面となっています。また、きょうだい児も参加し一緒に楽しめる機会にもなっています。	きょうだい児同士の交流プログラムは実施できておらず、今後検討してみたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	1	懇談時だけでなく、随時悩みや相談に応じています。相談内容に応じて、センター内の専門職スタッフが対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	2	通信の発行、活動報告ボード、活動写真の公開、月間予定、行事案内のお知らせなどを行っています。法人では会報を年2回発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	個人情報の取り扱いについて、全スタッフで確認し、意識の徹底に努めています。個人情報書類は施錠できる場所で管理をしています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	こども一人一人の特性に応じた配慮、保護者の方への分かりやすい説明、情報伝達を心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	地域の方との交流行事を実施しています。入園式や卒園式では、地元の福祉関係者などの来賓をお招きしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	2	マニュアルを策定しスタッフで確認をしています。行方不明児捜索訓練、不審者対応訓練も行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	BCPを策定し、火災、地震、水害を想定した避難訓練を年に3回行なっています。各自の避難袋も常備しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	1	保健師と連携して対応しています。年1回健康聞き取り表で健康状況や予防接種歴を確認しています。服薬がある際には、保護者に薬と与薬依頼表を提出いただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0	年1回、食物アレルギーについて保護者から聞き取るとともに、対応が必要な場合には医師の指示書に基づく対応をしています。保健師・管理栄養士と連携しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画に基づき、安全管理をしています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	こどもたちの安全に関わるお願い等について、保護者の方へ必要に応じてお知らせしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	発生したヒヤリハットやアクシデント、インシデントについて、原因と対応を検討し、記録に残すとともに、スタッフ全体で改善策を協議し共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	虐待防止研修を行なっています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	1	身体拘束の禁止について契約書に記載をしています。やむを得ず行う必要がある場合は、必要な手順に沿って対応を検討します。	